

平成30年度(第45回)
佐賀県総合バドミントン選手権大会

※東京2020応援プログラム「ラリーラリー」を同時開催 ※1月20日(日)複の部のみ

実施要項

1. 主 催 佐賀県バドミントン協会
2. 期 日 【個人複の部】平成30年1月20日(日)午前9時開会
【個人単の部】平成30年2月24日(日)午前9時開会
3. 会 場 【個人複の部】旭学園体育館(佐賀女子短期大学前) 0952-29-8860
【個人単の部】旭学園体育館(佐賀女子短期大学前) 0952-29-8860
4. 種 別 男子・女子 個人(複・単)の部
5. 競技規定 現行(公財)日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規定、公認審判員規定による。
主催者が選定した(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥球を使用する。
6. 競技方法 各種別のトーナメント戦とする。3位決定戦は行わない。
7. 参加資格 今年度(公財)日本バドミントン協会佐賀県登録者であること。
8. 参加申込 所定の用紙に必要事項を記入の上、各理事または代表者等で取りまとめ現金書留郵便にて申し込むこと。
※申込書の書式については佐賀県バドミントン協会ホームページに掲載しております。
9. 申 込 先 〒840-0047 佐賀市本庄町本庄1263番地1 佐賀女子高等学校内
佐賀県バドミントン協会 事務局 築地 孝彦 宛 ℡0952-24-5341
封筒左下へ「大会申込書在中」と朱書きしてください。
※電話、FAX、メールでの申し込みはできません。
10. 申込締切 【個人複の部】平成30年1月10日(木)必着
【個人単の部】平成30年2月14日(木)必着
11. 参 加 料 1種目1人 1,000円(申込書に添えて納入)
12. 組合わせ 主催者の責任において行う。
13. 表 彰 各種別3位までを表彰する。1位並び2位にはメダルを授与する。
14. 諸 連 絡 ○審判 原則として試合のない選手・敗者にて行う。
参加者は審判員資格3級取得又は、同等の審判技術を有する者が望ましい。
○服装 (公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
特に、インナーウェアについては審査合格品であることを確認してください。
○参加者は各自、スポーツ傷害保険等へ加入しておくこと。
○傷害について主催者は応急処置のみ行う。
○開館後受付を行いますので、申込責任者が受付をすること。
○参加者は9時からの開会式に参加すること。
※体育館の開館は午前8時30分の予定です。早朝よりの来館はご遠慮ください。
○荒天等により中止延期の場合は、佐賀県バドミントン協会ホームページに掲載しますので、確認してください。
**○複の部開催時は別紙のとおり「東京2020応援プログラム ラリーラリー」を行います。
ご参加ください。**

県総合選手権 ダブルス参加のみなさまへ
東京オリンピック 応援プログラム ラリーラリーを 県総合選手権ダブルスで行います。



ラリー！ルール説明

ラリーラリー Rally-Rally

シャトルを打ち合った数の記録はどこまで伸ばせたか？
みんなの力をあわせてシャトルを地球1周飛ばせるか？

ラケット、体育館シューズを用意し、ラリーをする2人組で参加。もちろん一人でも大丈夫。
会場で行うラリーの形式A、Bが指定されます。

		A、Bのどちらかを選び、2人の距離を決める。 シャトルは1個だけ使う。	
		A: ネットなし (6m)	B: ネットあり (4m)
距離 A、Bの いずれかを選ぶ			<p>次の①②のいずれかの方法で距離を決める。</p> <p>①ショートサービス・ライン間の距離が3.96m。つま先がショートサービスラインを越えないようにしてスタート</p> <p>②メジャーで4mの距離を測る。</p>
4人で1組が基本。2人がラリーしている間に、他の2名がラリーの数(ラケットでシャトルを打った数)を数える。	6m離れたところからスタート。途中で、シャトルを打つために前に出たり、下がったりしても良いが、6mに戻るようにする。床に落ちたシャトルはすぐ拾い、6mの位置に戻って続けられる。	ネットを中央にして、4m離れたところからスタート。ネットの上を越えたラリーが有効。途中で、シャトルを打つために前に出たり、下がったりしても良いが、4mに戻るようにする。床に落ちたシャトルはすぐ拾い、4mの位置に戻って続けられる。	
時間	1分(立会人(公認審判員)が計る)		
数えるのは (制限時間内ならば、何回でもやり直しができる)	①時間内に2人でシャトルを打った総数(●が数える)		
	②シャトルを落とさずに打ち続けた数の最大(●が数える)		

打ちあった数はスマホを使って集計します。スマホがない場合には、会場にある集計用のPCを使います。記録集計用に自分のメールアドレスが必要です。

上記のうち今回はA: ネットなしの方を実施いたします。ラリーラリーの専用コートを準備しますので試合前の練習として、また試合後のレクリエーションとして基本的にダブルスのパートナーと参加してください。(しかし誰とでもかまいません) ふるってご参加下さい。

問い合わせ担当 社会人部 田中 昌樹

